

Impact of COVID-19 on Education

Graduate Women International (GWI) UN Representatives

Maureen Byrne
Maryella Hannum
Sophie Turner Zaretsky

GWI 国連代表による提言書 「COVID-19 が教育に及ぼす影響」 要旨

序論

国際社会は国連創設以来、最も深刻な教育危機にさらされている。COVID-19 パンデミックにより、160 か国以上で教育機関が閉鎖され、16 億人の学生が影響を受けた。この危機は教育制度の脆弱性をあらわにし、社会、ジェンダー、教育、デジタルにおける格差を拡大した。

取り組むべき課題

1 デジタル接続性

すべての学校がインターネットに接続できることが必要である。世界的には、15～24 歳の 29%、3 億 4600 万人の青少年がインターネットに接続できない状況である。インターネットに接続できる状況は国家間、地域間、男女間、職種間で格差がある。地域にもよるが、アフリカが最も低い。また、都市部の貧民地区では女性は男性の約半数しか接続できない。インターネット接続は安価になっており、携帯電話や Wi-Fi 等接続の方法は増えている。インターネット接続できる人が 48%から 75%に増加すると、世界の GDP が 2 兆米ドル増加し、1 億 4000 万人の雇用創出につながる。

デジタルリテラシーに関しては、低・中所得国の成人の多くが基本的なコンピューター操作ができない。EU 諸国でさえ、全市民の 45%、労働者の 37%は不十分な操作技術しか持っていない。(a) 時代に即応したカリキュラムを持っていない (b) 有資格のトレーナー不足 (c) 正規教育セクターの対応が鈍いことが障害となっている。

2 教育財源

COVID-19 パンデミックによる財政への負担は深刻である。SDG 2030 の目標を危険にさらすだけでなく、すでに達成した進展を危うくするなど、教育財源が近い将来深刻な減少に転じる可能性が高い。とはいえ、パンデミックとそれが世界経済に及ぼしている悲惨な影響に直面して、教育のための財源を維持または増額させる方法を検討する必要がある。

3 学習機会の確保

経済がひっ迫している中、女兒の就学を守り、女性の学習機会を拡大するにはどうすればよいのか。学校に通うことができなくなった女兒が早婚を強いられるのを防ぐにはどうすればよいのか。

4 データ

COVID-19 下での最大の課題は、危機管理の主要な目的として、教育における公平性と包摂性を守り続けることである。低・中所得国の統計機関は、学校閉鎖と遠隔教育の結果を反映した教育データを収集すべきであり、収集できるデータのうち、すぐに利用するために最も重要な教育変数（項目）が何かを見定め、起こりうる長期的構造変化を見ていく必要がある。

貧しく社会から取り残された生徒はとりわけ、学校閉鎖によって、学習の中断、親の準備不足、教師のストレスの増加、親のストレスの増加、中退の可能性の増加、栄養失調等の問題に直面している。

評価に追加すべきデータは以下の通りである。

- ・ COVID-19 発生以来、教育提供でどんな変更があったのか。
- ・ これらの変更は、学びと学びの公平性にどのように影響しているのか。
- ・ 遠隔教育に登録しているが参加していないのはどんな人で理由は何か。
- ・ 遠隔教育に参加しているが学習していないのはどんな人で理由は何か。

裕福な生徒とそうでない生徒間にすでにある学習格差に加えて、COVID-19 による学習の損失は初等教育の最初の 2~3 学年で過度に大きくなりうるので、学習は性別や収入だけでなく、年齢ごとに分析する必要がある。また、電話アプリ、電子メール、ソーシャルメディアなどのオンライン教育の方法だけでなく、サンプリング、テスト後の即時フィードバック、機密保持プロトコルなどの新しい評価方法が必要になる場合もある。

危機のため、重要なデータのみを収集すべきであり、従来とは異なる方法が必要とされるかもしれない。

1. いくつかの重要な指標のみに焦点を当て、学校と学生の母集団のサンプルからデータを収集する。
2. 脆弱な学生群を数多くサンプリングして、公平性を注視する。
3. 短く効率的なテストを頻繁に行い、学習の成果を測定する。
4. 学生の参加、教師の参加、学習成果について（男女別、年齢別などに）細分類されたデータを収集するための国家戦略を確立する。

5 イノベーションと協働

ユニセフとマイクロソフト社は、COVID-19 の影響を受けた子供と青少年が家庭で教育を継続できるように、世界的な学習プラットフォームを立ち上げた。この学習手段はもともと、避難者や難民の子供たちに、デジタル遠隔学習プラットフォームによる教育を提供するために、ケンブリッジ大学とも共同で作成されたものであるが、国家レベルのカリキュラムや教師や教育者のための主要な資料として使えるように拡充された。子供が利用できるコンテンツとして、オンラインブック、ビデオ、学習障害を持つ子供の親のための支援教材も含まれている。